

令和 2 年 12 月 11 日 産業振興課

産官学連携で地域資源を生かした地域おこしに挑戦 中小企業が取り組むチャレンジを町と日本工業大学院生が後押し！

花き産業のマーケットは年々減少しており、一世帯当たりの「切り花」の購入額は 1997 年の 13,130 円をピークに、2019 年には 8,401 円まで落ち込んでいます。これらを背景に農林水産省は本年 4 月に「花き産業および花き文化の振興に関する基本方針」を公表し、花き産業の振興に動き出しています。

こうした中、神奈川県寒川町の夫婦が営む園芸店「千秋園」では新しい商品で地域おこしにチャレンジします。千秋園は八方除けで知られる寒川神社の参道に位置しており、この八方除けにちなんで八角形のサボテンを商品化。小さな木製升を鉢に見立てて提供される商品は「八福さぼてん」と名付けられ 2021 年元日より販売予定。

トゲや針を持つサボテンは、風水では邪気を払う植物と目されており、「八福さぼてん」を部屋のインテリアとして提案し、寒川町の新名物として、地域の活性化に繋がります。

この商品は、日本工業大学大学院の院生グループが企業診断実習で同社を訪れた際に、新たなチャレンジとして提案し、中小企業支援に積極的に取り組む寒川町も、町のブランドマークを使用することで、商品価値の向上を後押しし、産官学連携で商品化が進みました。



問い合わせ先

《商品に関すること》

有限会社千秋園（せんしゅうえん） 代表者 原 千秋 ☎0467(75)5581

《ブランドマーク・中小企業支援に関すること》

環境経済部 産業振興課 課長 原田 ☎0467(74)1111 内線 760